

企画展

# 神

と

# 仏

の

# 物語

木造二十八部衆立像 乾闥婆像  
(功山寺蔵・当館寄託、下関市指定文化財)



女神像 (当館蔵)



長府  
寺社巡り

令和7年2月14日(金) ▶ 4月13日(日)

下関市立歴史博物館

〒752-0979 下関市長府川端二丁目2番27号  
Tel 083-241-1080 Fax 083-245-3310

休館日 月曜日(2月24日(月・振休)は開館し、翌25日(火)に休館)

開館時間 9時30分～17時00分 [入館は16時30分まで]

観覧料 一般 210円 [160円]、大学生等 100円 [80円] ※ [ ]内は20名以上の団体料金

駐車料金 最初の2時間まで1時間ごとに100円 最初の2時間を超える30分又はその端数ごとに100円

駐車台数 一般26台、身障者用2台

(イベント) 関連講座

①「長門一宮・二宮の祭礼と長府の住民」 令和7年2月23日(日)・26日(水)

②「戦国大名毛利氏と禅宗寺院」 令和7年3月19日(水)・22日(土)

※時間はいずれも10:30～11:30 ※いずれも同じ内容です。

【場 所】下関市立歴史博物館ガイダンス交流室

【定 員】35名(要予約・先着順、連絡先083-241-1080)

※令和7年2月7日(金)9時30分より電話または博物館受付にて受付開始。

【資料代】300円

# 神と仏の物語 - 長府寺社巡り -

## 町を挙げてのお祭り!



天保十一年二宮大祭御幸絵図 (当館蔵)

古代に長門国の国府が置かれて以来、長門国の政治的中枢として繁栄した長府は、多くの寺社が所在する宗教の中心地でもありました。長門国の二宮として多くの人々の崇敬を集めた忌宮神社は、仲哀天皇や神功皇后の伝承を今に伝えるとともに、一宮である住吉神社と一体となって神事を執り行っています。また、長府の町は、忌宮神社の門前町としての側面を有しており、住民たちは、神社の祭礼の担い手として躍動していました。

また、長府には、奈良時代に誕生した国分寺や国分尼寺をはじめ、仲哀天皇所縁の霊跡として知られた極楽寺、長門守護北条氏の後援で開かれた長福寺など、多くの寺院が存在しました。これらの寺院は、時代の移り変わりのなかで名称や宗派を変えることもありましたが、信仰の拠点として人々の生活と密接に結び付きながら存続しています。

本展は、長府に所在する寺社と神仏にまつわる伝承について紹介するとともに、時代による寺社の変遷や人々の信仰のあり方に迫るものです。

## 神と仏の信仰の交わりによって誕生!



女神像 (当館蔵)



木造二十八部衆立像 神母天像・乾闥婆像 (功山寺蔵・当館寄託、下関市指定文化財)

## 千手観音の眷属!

## 釈迦の入滅を描く!



仏涅槃図 (功山寺蔵・当館寄託、下関市指定文化財)

## 担当学芸員のオススメ!

- 下関に特徴的な神功皇后の伝説と信仰との関わりについて紹介!
- 鎌倉時代以降の仏教の広まりについて、禅宗寺院に伝わる文化財を中心に紹介!



下関市立歴史博物館学芸員  
岡松 仁

## 交通のご案内

### 公共交通機関

JR 下関駅 長府・小月・宇部・秋芳・長門・西方面行きバス (所要時間約25分)

JR 新下関駅 バス停「城下町長府」を経由する「マリランド」または「下関駅」行きバス (所要時間約20分)

JR 長府駅 バス停「長府駅前」から下関方面行きバス (所要時間約10分)

### 自動車

下関I.C. 壇の浦方面へ進み、国道9号線経由(所要時間約20分)  
長府方面へ進み、国道2号線経由(所要時間約15分)

バス停「城下町長府」

徒歩10分

下関市立歴史博物館

